

教職員の資質向上をめざす研修の充実

世の中は時代と共に急激に変化しています。21世紀に向けて、我々教職員は時代を見据えてそれに対応していく姿勢が必要に思います。

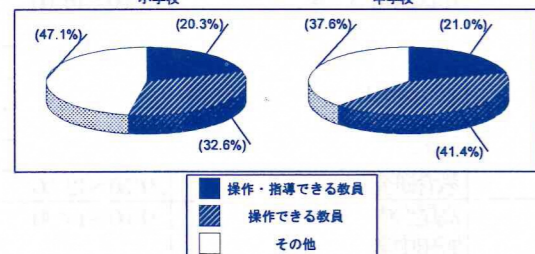
教育研究センターでは教職員の研修・研究の充実を第一に掲げ、さらに情報教育と小学校英語活動の拠点として、教育活動の支援をしています。

情報教育関係研修講座

新学習指導要領が告示されました。その中で、コンピュータを含む情報教育の重要性が更に強調され、もはやコンピュータは授業に欠かせない道具であり、コンピュータ操作は、教師にとっては基礎的素養という位置づけになっています。すなわち「コンピュータは苦手」だからといって尻込みをしている時代ではないようです。

金沢市では平成10年末にすべての小中学校にISDN回線によるインターネット接続がなされ、平成14年度までに教育用コンピュータの整備が完了する予定です。このような環境の中、当センターでは教職員のコンピュータ操作水準を高めるため、「コンピュータ入門」「インターネット研修」「ホームページ作成」「情報モラル講演会」の講座を準備し、さらに本年度教育用コンピュータ新規整備校担当者対象に「パソコンリーダーズセミナー」を設けました。

コンピュータ利用における金沢市教職員の実際 (H11.3現在)



コンピュータを使った研修会は終わった後、もう一度学校で使ってみてください。そして利用してみてください。使うことに

より今までにない形の授業が生まれ、そして違った形の児童生徒の反応が得られると思います。

教職員課題研究委託事業スタート

従来の県外派遣・個人委託を「教職員課題研究委託事業」と改称しました。内容も本年度は「心の教育」「人権教育」「特殊教育」の3つの今日的課題に絞り、12名の教員が課題ごとにチームを組んで研究を進めていきます。どの領域も小学校と中学校の教員とで構成されており、各自の考えや授業実践について互いに情報交換しながら、研究を深めていくことをねらったものです。

「研修」とともにこれらの「研究」も大切な柱です。金沢の教育にとっての重要な課題について、じっくりと研究を深め、年度末にはまとめて成果をお知らせしたいと思います。

英語活動の充実を!

今年度も市内の民間指導協力員(EAA)84名の協力を得て、英語活動がスタートしました。センターでも5回の研修会の中で、多くの活動のアイデアを得たりTTのあり方を考えたりするきっかけとなるよう企画実施しています。

活動が成功する鍵は、EAAと子どもたちとのパイプ役となる学級担任にあると言っても過言ではないでしょう。今の目の前の子どもたちに、付けたい力は何か。すすんで人と関わろうとする力、表現力、パワー……。担任の思いを明確にEAAに伝え、両指導者が同じ方向を向いて指導に当たれば子どもたちは安心して活動に取り組めるでしょう。ねらいを打ち出し、子どもたちの生き生きと活動する姿を思い浮かべながら知恵を絞ることほど楽しいことはありません。情報を交換しながら、活動の充実を図りましょう。(荒井・松永)

発行者

金沢市教育研究センター
 所長 福島 茂
 〒920-0855 金沢市武蔵町14番31号
 TEL (221)7949 FAX (221)6800
<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/ed-center/>
ed-center@city.kanazawa.ishikawa.jp

金沢市教育相談センター
 所長 田野 正昭
 〒920-0852 金沢市此花町2番7号
 TEL (224)0874 FAX (263)7830

kyouiku_so@city.kanazawa.ishikawa.jp



適応指導教室

「そだち」

写真：そだち体験活動「カヌー教室」宇ノ気町水辺公園 平成11年6月21日発行

10年目を迎えるにあたって

文部省は平成二年に、不登校児童生徒への支援の新しい施策として「適応指導教室」(学校以外の場所に不登校の児童生徒の生活できる場を設定し、彼らの学校生活への復帰を支援するために様々な指導・援助を行う教室)を位置づけ、各都道府県への研究委託を進めるなかでその設置を推進してきました。それにともない、金沢市も適応指導教室「そだち」を開設し、今年で十年目を迎えることになりました。これまで、登校できないことに悩み不安な日々を送っている児童生徒に安全で自由な居場所を提供し、希望と自信と生活への意欲を回復してもらうためにどのような支援ができるか試行錯誤の繰り返しでした。

以前には、不登校は学校嫌いの仮病あるいは家庭のしつけが悪いことからくる怠学であるとして不登校児童生徒はいわばわがまま病と決めつけられたり、また過保護や過干渉の母親と物理的・心理的に不在の父親という家族の図式が不登校を生むという誤解や無理解が多くあったように思います。しかし、適応指導教室の歩みと時を同じくして不登校が大きな社会的な問題になるとともに、長期間にわたり学校を欠席する児童生徒やその保護者に対する理解や支援についての認識も良い意味で変化してきたと思われます。つまり、不登校の問題を「特定の子どもに特有の問題があること

によって起こる」という従来の固定的な観念でとらえるのではなく、様々な要因が作用すれば「どの子にも起こりうるものである」という視点でとらえ支援することが必要であるという認識に移り変わってきたのです。あわせて、「子どもが学校に行けない、行かない」ことを指す用語についても、「登校拒否」から「不登校」という用語が使われるようになったことにも社会の変容が窺えます。

十年目を迎える適応指導教室「そだち」は、金沢市教育相談センターとともに此花町小学校の跡地で新たなスタートを切ることになりました。ある意味では“初心にかえって”というのが適切かもしれません。改めて「そだち」という場の持つ意味を

- ① 安心できる居場所
- ② 個別援助の重視
- ③ 自己決定の重視
- ④ 子どもの自発的な集団づくり

ととらえ、通室する児童生徒のニーズに応えたより適切な支援をしていきたいと考えています。

また、保護者や在籍校の先生方との一層の連携を大切に、さまざまな課題の解決に向けてみなさまとともに歩めたら幸いです。

(竹内)

相談の窓から

『健やかに』

金沢市民の憩いの空間である「白鳥路」を兼六園下から入ってすぐ右側に日展評議員・田中昭先生作の『健やかに』と題された像が立っています。小学生と思われる女の子と男の子の二人が仲良く肩を組み楽しそうに笑っている姿は今にも動き出しそうにさえ見えます。授業合間の休憩なのだろうか、二人の間にどんな会話が繰りひろげられているのだろうか…。その前に立つと様々な想いが浮かびます。そして、何よりもこの像が観るものに語りかけてくれるのは、日々の何気ない振る舞いのうちに、実は子どもの『心のありよう』がはっきりと示されているということではないかと思えるのです。

ここで、学校の中で子どもたちの日常を思い描いてみましょう。授業中発言の多い子どもや活発に友だちとやりとりをしている子どもの場合には、その日の子どもの言動を思い出すことは比較的容易ですが、「はて、～さんの今日の調子はどうだったろう」と、その子の一日の様子が思い浮かべにくいこともあるかと思えます。しかし注意していれば、子どもたちはいたるところでその『心のありよう』を「しぐさ」「表情」

「声の調子」等、様々なサインを使って私たちに知らせてくれているのではないのでしょうか。

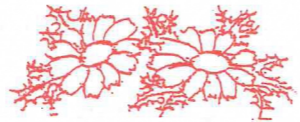
教育相談センターには先生方から「クラスの～さんが突然学校を休み始めた」というような相談が寄せられますが、よく話を伺ってみると「そういえば…」と子どもの心の不調に至る変化に思い当たるかたが間々あります。以前とは違って姿勢がくずれたり、俯きがちになったり、声に元気がなかったりと、子どもたちは様々な振る舞いを通して「心の黄色信号」を発信していることが少なくないのです。私たちがそのような子どもからのサインを先ず読み取り、その上でその子なりの状態に合った関わりを心がけることで、子どもは心のエネルギーを補給し、元気を回復できることもある筈です。

今にも弾みだしそうな「白鳥路」の二人の像のような子どもたちの伸びやかな姿が学校にあふれることを願ってやみません。そのために今問われるべきは、子どもの発信する微かなサインをも見逃さない我々教師の眼差しなのではないのでしょうか。

(上農)

相談の基礎 1

「今」を読み取る



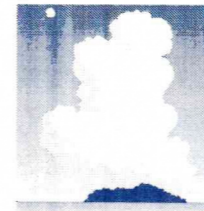
昨年の研修会の中で講師が引用された言葉で、今でも心に残っているものがあります。それは、道元の、「空手にして郷に還る」です。還るとき、特定のものを掴んでしまったら他のものを掴めなくなる、何も持たず、自由な心だと何でも掴めるという意味です。この言葉を聞いたとき、その意味深さに、なるほどと思いました。人はつい何かを掴むということをもとめてしまいがちです。ひとつのものだけに目がいくと、他のものを受け付けられなくなります。いろいろなものにふれ、さまざまなものを受け取るためには、とらわれのない心こそ大切なのかもしれません。

日常生活の中での、子どもと教師の関係の中にも、これに近いものがあるのかもしれません。例えば、学校でいろいろとトラブルの多いAさんがいたとします。担任の先生は、何かにつけて注意することが多く、その子は反発したりますますふてくされるばかりでした。担任の

先生もAさんのいい姿をなかなか見られず、気になっていました。ある時、「先生はわたしのことを信じていないんだ」と言うAさん、その一言で、担任の先生はハッとしました。Aさんの過去のことは過去のことで受け止めて、今のこの子の姿を見ていなかった、と。それからの先生の関わりの変化はいうまでもありません。Aさんもその後、笑顔を見せて、元気に過ごせるようになるのではないのでしょうか。

この例のように、私たちはつい限られた出来事や行動で、一人の子どもの全てを理解しているように考えがちです。そのために、その子の良さとかが見つけにくくなっていくように思います。一つのイメージで一人の子どものを見るのではなく、まささらな心で子どもたちと向き合ってみませんか。きっと掴めるものがいっぱいあるはずですよ。もしかしたら、それが新しい発見かもしれません。

(國坂)



夏季休業中の
金沢市教職員研修会

夏季休業中は1学期をふりかえり、2学期に向けて研修研鑽に励みたいものです。夏季にはいろいろな研修会があります。開催される場所や時刻、持ち物等が各研修会で違いますので、センターより後日送付する案内をご確認の上、まちがいのないようお願いいたします。

期日	研修会名	会場	時間
7月27日(火)	パソコンリーダーズセミナー③	教育研究センター	9:00~16:30
	小学校英語活動加研修会③	教育研究センター	9:30~16:00
	障害児理解研修会I	教育相談センター	9:30~12:00
7月29日(木)	パソコンリーダーズセミナー④	教育研究センター	9:00~16:30
	障害児学級担当者研修会②	教育研究センター	9:30~16:00
8月2日(月)	養老院研修会	総合健康センター	10:00~16:00
	小学校実技研修会II(図工科)	南小立野小学校	9:00~16:00
	小学校実技研修会III(音楽科)	教育研究センター	10:00~16:00
8月3日(火)	パソコンリーダーズセミナー⑤	教育研究センター	9:00~16:30
8月4日(水)	事務職員研修会	教育研究センター	10:00~16:00
	小学校実技研修会I(理科)	明成小学校 中央小学校 野田小学校 菊川小学校	9:00~16:00
8月5日(木)	パソコンリーダーズセミナー⑥	民間ビュースクール	9:00~16:30
	障害児学級担当者研修会③	教育研究センター	9:30~16:00
8月9日(月)	校長・教員研修会	教育研究センター	10:00~16:00
	パソコンリーダーズセミナー⑦	民間ビュースクール	9:00~16:30
	中学校生徒指導担当者研修会①	教育研究センター	9:30~16:00
	学校図書館担当者研修会	市職員センター	10:00~12:00
8月10日(火)	障害児理解研修会II①	教育相談センター	13:30~16:00
	パソコンリーダーズセミナー⑧	民間ビュースクール	9:00~16:30
	中学校生徒指導担当者研修会②	教育研究センター	9:30~16:00
	カウンセリング講座I③	教育研究センター	9:30~16:00
	カウンセリング講座II③	教育研究センター	9:30~16:00
8月11日(水)	児童生徒理解研修会②	教育研究センター	13:30~16:00
8月11日(水)	道徳教育研修会①	教育研究センター	13:30~16:00
8月12日(木)	総合研修講座I	市民芸術ホール	10:00~16:00
8月17日(火)	インターネット研修会A	高尾台中学校 金石中学校 野田中学校	9:00~16:30
	インターネット研修会B	高尾台中学校 金石中学校 野田中学校	9:00~16:30
8月18日(水)	学校重営研修会(全体会)	市民芸術ホール	10:00~12:00
	学校重営研修会(分科会A)	教育研究センター	13:00~16:00
	学校重営研修会(分科会B)	市民芸術ホール	13:00~16:00
	パソコンリーダーズセミナー⑨	民間ビュースクール	9:00~16:30
	部活動担当者研修会	中央公民館	13:30~16:00
8月19日(木)	薬物乱用防止研修会	中央公民館	10:00~12:00
	パソコンリーダーズセミナー⑩	民間ビュースクール	9:00~16:30
	障害児学級担当者研修会④	教育研究センター	9:30~16:00
8月20日(金)	障害児理解研修会II②	教育研究センター	9:30~12:00
	インターネット研修会B	高尾台中学校 金石中学校 野田中学校	9:00~16:30
8月23日(月)	道徳教育研修会②	教育研究センター	9:30~12:00
8月25日(水)	総合研修講座II	教育研究センター	10:00~16:00
8月26日(木)	人権教育担当者研修会(午前の部)	中央公民館	9:30~11:30
	人権教育担当者研修会(午後の部)	中央公民館	13:30~15:30
	カウンセリング講座I④	教育研究センター	9:30~16:00
	カウンセリング講座II④	教育研究センター	9:30~16:00
8月26日(木)	児童生徒理解研修会③	教育研究センター	9:30~16:00

※小学校実技研修会I(理科)及びインターネット研修会ABについては出席者に会場の連絡を後日お送りします。障害児理解研修会II②については会場の変更(教育相談センター→教育研究センター)があります。

※時間は研修開始時間です。